



中本 幹子

芦屋市の公立小学校の先生方とお会いしてお話しする機会をいただきありがとうございました。ご承知の通り、2020年から小学校5、6年生を対象に英語が正式な教科になります。(従来は外国語活動と呼ばれていました)5、6年生は文科省認定の教科書を使って年間に70時間あり(週2回)、評価もされます。(3、4年生は年間35時間)

しかしながら、残念ながら、日本人の英語の運用力は国際的な英語の能力を測るテストTOEFLの結果では日本はアジアにおいて最下位から6番目、最も低い国の一つです。この理由の一つの理由として、我が国は、文法、英訳、日本語訳を中心に英語を教え、英語を使ってのコミュニケーション能力の育成に力を入れてこなかったのです。ますます、世界は狭くなり、グローバルに活躍できる人を育てていかなければいけません。今後小学校では、子供たちが自分の考え、自分の言葉を使って人と交流していく授業の形が求められます。そのためには意味のある目的のために、実社会の本当の教材を使い、子供たちの好奇心を刺激する課題を作らなければなりません。

その考えに沿ったいくつかの活動を紹介させていただき、先生たちと実際に活動しました。このワークショップを通じて、先生方が英語はルールや単語を教えるものではなく、英語を使ってみたいという動機を育んでいくものということを理解していただければ幸いです。

Mikiko Nakamoto

It was my pleasure having an opportunity to give a lecture on English Education in the public elementary schools in Ashiya City.

As we know, in 2020, English will become an official subject for fifth- and sixth-graders in elementary schools in conjunction with designated textbooks and formal grades. (Previously, English was categorized as Foreign Language Activities).

On the other hand, Japan has been one of Asia's worst performers with TOEFL (Test of English as a Foreign Language) ranking sixth from the bottom.

One of the reasons with this failure is that the focus of English education in Japan has emphasized grammar-translation based approaches, while less focus has been made to foster communicative abilities of the learners.

For an age of globalization, I believe that the English lessons in elementary schools must be designed to develop children's communicative competence, that is to say, to enable them to express and exchange their own feelings, thought and opinions with others. Authentic materials, taken from the real world, to let the children think and use the language for meaningful purpose, are essential.

In this lecture, I introduced some of the activities based on this theory. I hope the teachers understood that in the English classes, we teach not only grammar or words but also encourage them to express their individual opinions and emotions in English and develop their curiosity in sharing their world with others.

「inochi学生未来フォーラム2019」で最優秀賞! Grand Prize in "inochi Gakusei Mirai Forum 2019"

2018年度SAの八木新之助さん、同年度HAの花嶋隆成さん、お二人の同級生の3名から成る甲陽学院高チーム「夏野菜カレー」が、心臓突然死を減らす解決策を考える「inochi学生未来フォーラム2019」で最優秀賞に選ばれました。なおこのフォーラムは2015年度SAの加輪上創介さんも運営に携わっています。

甲陽学院高チームは、スタジアムなどの観客への対策が不十分と指摘。AEDの場所を事前に教えられた来場者が専用席の「RED SEAT」に座り、必要があればAEDを取りに走るといったシステムを提案。関東・関西の中高生と高専生の79チームの頂点に立ちました。

この日に向けて、3人は何度も潮芦屋交流センターでプレゼンテーションの練習を重ねていました。八木さん、花嶋さん、おめでとうございます! (事務局)



"Summer Vegetable Curry" team of Koyo Gakuin High School, whose members are Shinnosuke Yagi, Student Ambassador in 2018, Ryusei Hanashima, Host Ambassador in 2018, and their mate, was selected the Grand Prize in "inochi Gakusei Mirai Forum 2019" that is organized to present a solution for the sudden cardiac death. Sosuke Kawakami, Student Ambassador in 2015 is also engaged in the management of this forum.

The team pointed out an inadequate arrangement for the audience in a stadium. They proposed a unique system that a pre-assigned member sits at a particular "Red Seat" and goes and fetches an AED in emergency. They stood atop among 79 teams of junior high, high, and technical college students in the Kanto and Kansai regions.

Toward the forum, 3 members prepared and practiced many times their presentation in the Shio-Ashiya Exchange Center. So many congratulations for Yagi-san, Hanashima-san! (Secretariat)

BULLETIN BOARD

第56回モンテベロ市学生親善使節募集要項

主催:芦屋市(指定管理者:認定NPO法人芦屋市国際交流協会)

【目的】 学生親善使節(Student Ambassador)として芦屋市の姉妹都市、米国カリフォルニア州モンテベロ市の一般家庭に滞在し、現地の生活、文化、社会における理解を深め、芦屋市の国際交流活動に貢献する。

【募集人数】 2人
【派遣期間】 2020年7月から8月の3週間
【求める人物】 芦屋市の魅力を現地で伝え、英語を学習する意欲のある人物。
【応募資格】

- (1) 健康かつ海外生活の適応能力があり、日本や芦屋市の文化・社会についての見識を有する人。
- (2) 派遣される時点において、芦屋市に継続して3年以上在住し、その後も少なくとも1年間は在住する見込みであること。
- (3) 派遣される時点において、高校生以上の生徒または学生(大学生・専門学生・大学院生)であること。応募時点において、中学3年生以上であること。
- (4) 来芦するモンテベロ市学生親善使節のホームステイ(1週間)の受け入れが可能であること。
- (5) 学生親善使節として決定後、芦屋市とACAの国際交流活動に協力できること。(帰国後の9月より1年間は、ACAの国際事業委員会(月1回)において、学生委員に就任し、翌年度のプログラムを企画・支援する。特に翌年の8月はホストアンバサダーとしてモンテベロ市からの学生親善使節を迎える。)

【費用】
(1) 往復の航空運賃および燃油サーチャージについては、主催者が負担。
(2) モンテベロ市での滞在費(食費・宿泊費)は、モンテベロ姉妹都市協会などモンテベロ市側が負担。
(3) それ以外の経費(パスポート、ESTA、海外旅行保険等を含む)は、本人負担。

【説明会】
筆記・面接試験に先立ち、説明会を2回行います。【要予約】事業の主旨や活動内容についてご理解いただくため、保護者同伴にていずれかの説明会にご出席ください。
※①と②は同じ内容です。

①■2020年2月9日(日) 10:00~12:00
②■2020年2月24日(祝) 17:00~19:00
場 所: 潮芦屋交流センター204室
内 容: 学生親善使節としての活動内容、ホストファミリーとしてモンテベロ市学生親善使節の受け入れについて説明します。また、昨年度の学生親善使節が、モンテベロ市での経験を踏まえての「国際交流の魅力」について語ります。

【筆記試験】■2020年3月8日(日) 10:00~12:00
場 所: 潮芦屋交流センター204室
【面接試験】■2020年3月15日(日)
場 所: 潮芦屋交流センター205室
(※面接試験は筆記試験合格者のみに別途通知します)

【応募方法】 「第56回モンテベロ市学生親善使節申込書」(親権者の承諾書名と捺印を含む)を下記へ持参又は郵送してください。なお郵送で応募の場合には返信用定形封筒(84円切手付き)を同封してください。
【応募受付期間】 ■2020年2月9日(日)~3月3日(火) 必着
(持参の場合は、水曜日を除く)
【申込書配布先】 潮芦屋交流センター
芦屋市役所(北館・南館受付、広報国際交流課国際交流係)
ラポルテ市民サービスコーナー(ラポルテ本館3F)

※市のホームページからもダウンロードできます。

作って食べよう世界の料理

<第152回>イタリア編
日 時: 2月3日(月) 10:00~14:00
講 師: 大島 隆司氏(ポッテガブルー)
メニュー: 季節のサラダ、マグロのタルタル、ポロネーゼパスタ、パンナコッタ
予約受付: 1月5日(日) 9時~

<第153回>タイ編
日 時: 3月9日(月) 10:00~14:00
講 師: 村木 タツサニー氏
メニュー: トムヤムクン(エビスープ)、パッタイ(タイ風焼きそば)、クルイブッシー(バナナとタピオカのココナツミルク煮)
予約受付: 2月1日(土) 9時~

<第154回>エジプト編
日 時: 4月20日(月) 10:00~14:00
講 師: カリール・フセイン氏
メニュー: 未定
予約受付: 4月2日(木) 9時~

いずれも
場 所: 潮芦屋交流センター
参加費: 2,500円
定 員: 30名(要予約)
持ち物: 食器用フキン、エプロン、筆記具
開催日2週間前から材料費分のキャンセル料2,000円が発生します。

ドイツの日

日 時: 2月15日(土) 14:00~
内 容: 講演会「市民レベルの環境問題について(仮)」(ドイツ語・日本語通訳あり)
講 師: 在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事
参加費: 700円(お茶・お菓子付き)
定 員: 100名(中学生以上)
要予約(2月10日(月) 17:30締め切り)
共 催: NPO法人神戸日独協会
協 賛: 在大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

お能の世界にふれてみよう

日 時: 2月21日(金) 14:00~
内 容: 講演会
(日本の伝統芸能をきちんと知り理解しよう)
講 師: シテ方観世流能楽師 長山耕三
参加費: 無料



さくらまつりバザーにご協力ください

ACAでは今年も4月の芦屋さくらまつりにて、バザーを行う予定です。ご家庭に眠っている品物、贈答品がございましたら、ご提供をお願いします。バザーの収益は、ACAの貴重な活動資金として使わせて頂きます。
【提供していただきたい品物】
新品又は新品同様の物に限ります。
食料品、酒類(残賞味期限が2020年5月以降のもの)
衣類、靴、日用品、雑貨、アクセサリー、贈答品等
受付期間: 3月末まで
水曜を除く毎日9:00~17:00にお越しください。



Les 芦屋

~ Small luxury care home ~

介護付有料老人ホーム (39室)
グループホーム (18室)
特別介護老人ホーム (29室)

〒659-0072 兵庫県芦屋市海陽町14-1
TEL 0797-34-1000



講演会

『米中新冷戦と瀕死の、共産党:習政権』



【講師】河添 恵子先生
ノンフィクション作家
【日時】令和2年3月7日(土)
午後2時より受付
【場所】ルナ・ホール
【会費】1,000円(学生無料)
【主催】日本文化を学ぶ会



【お問合せ】mail: ginza1929@gmail.com

申し込み・お問い合わせ APPLICATION & INQUIRIES

認定NPO法人 芦屋市国際交流協会
Certified Ashiya Cosmopolitan Association (ACA)

〒659-0035 兵庫県芦屋市海陽町7番1号
7-1 Kaiyo-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN
TEL:0797-34-6340 FAX:0797-34-6341
URL http://www.npo-aca.jp
E-mail:aca@npo-aca.jp

受付時間 AM9:00~PM5:30(水曜休み)
Reservation window AM9:00~PM5:30 (Wed. closed)